

学習指導案の形式（例） 中学校社会科

第○学年○組 社会科学学習指導案

令和○年○月○日（○）第○校時 ○○教室 指導者 ○○ ○○

1 単元名 ○○○○○○○○○ 例：地理的分野

◇中学校学習指導要領に示す社会科の「第2 各学年の目標及び内容 2 内容」の項目を「内容のまとまり（＝大項目）」という。中学校社会科では、中項目ごとに学習指導案を作成することが考えられる。つまり、「世界の様々な地域」という内容のまとまりでは「世界各地の人々の生活と環境」を単元とすることが考えられる。なお、中項目を必要に応じて細分化した小項目「アジア」を単元とすることも考えられる。

- * 大項目 B 世界の様々な地域
- * 中項目 (1)世界各地の人々の生活の環境
(2)世界の諸地域
- * 小項目 ①アジア
②ヨーロッパ
③アフリカ
④北アメリカ
⑤南アメリカ
⑥オセアニア

2 単元の目標

◇学習指導要領の「内容のまとまり」の記載事項等を踏まえて設定する。

- 例 (1) 「知識及び技能」に関する目標（例：～理解する。～身に付けること。等）
- (2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する目標（例：～表現すること。等）
- (3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する目標（例：～態度を養うこと。等）

3 単元の評価規準

- ◇評価規準の設定に当たっては、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」、「新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習評価」等を参考にして適切に設定する。
- ◇「知識・技能」は「内容のまとまりごとの評価規準（例）」を基に、各分野の評価の観点の趣旨を踏まえて、評価規準を作成する。
- ◇「思考・判断・表現」は「内容のまとまりごとの評価規準（例）」を基に、各分野の評価の観点の趣旨を踏まえて、評価規準を作成する。
- ◇「主体的に学習に取り組む態度」は「内容のまとまりごとの評価規準（例）」を基に作成する。

例：地理的分野

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(具体的な社会的事象など)を基に～し理解している。 ～技能を身に付けている。等	(中項目名)について、(地理的な見方・考え方)に着目して、多面的多角的に考察し、表現している。等	(中項目名)について、よいよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。等

◇「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」の巻末資料として中学校社会科における「中項目毎の評価規準（例）」が示されているが、単元の評価規準として参考にすることができる。

4 指導と評価の計画（全○時間）

（○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」）

次	時	ねらい・学習活動	評価の観点			評価規準及び評価方法
			知	思	態	
一	1	◇生徒の立場で書く。			●	●～に着目して、問題を見いだしたり予想したりしている。
	2		●			●～について理解している。
二		◇評価の観点における「知」は「知識・技能」、「思」は「思考・判断・表現」、「態」は「主体的に学習に取り組む態度」を示している。	●			●～を基に、情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 ●～に着目して多面的・多角的に考察している。
		◇記録に残す評価の設定は、単元に応じて適切に設定する。定期考査等の活用も考えられる			○	○～に着目して多面的・多角的に考察している。

◇「評価の観点」欄の「○」印は、評価規準に照らして、生徒全員の学習状況を記録に残す場面として示している。「●」印は、形成的な評価に重点を置いて、生徒の活動を見取り、次の指導に生かしたり、生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況などについて積極的に個人内評価を行ったりする場面として示している。

5 指導上の立場

- 単元観
- 生徒観
- 指導観
- 研究主題との関連
- 全国及び県学力・学習状況調査との関連

◇指導者の立場で書く。

◇単元観…学習指導要領の記述から「単元を通して身に付けたい力」について整理すると共に、「単元の系統性」（何を学んできたのか、今後どんな学びにつながるのか）も併せて整理する。その際、教科書教材や資料集等の分析を行い、その単元の難しさを把握し、生徒の学習課題を把握して書く。

◇生徒観…単元や本時に関する「既習事項の定着状況」と「学習に対する学級の課題」を生徒の実態として記述し、整理する。

◇指導観…単元観と生徒観で記述した「学習上の課題」を克服するための指導者の意図や思いを「学習指導のためのアプローチ」として具体的な指導・支援の手立てを書く。これが研究授業の「研究仮説」や「提案性」につながる。

◇研究主題との関連…研究主題を簡潔に記述し、研究主題と授業における指導方法の工夫等との関連等を書く。

◇全国及び県学力・学習状況調査との関連…現状と課題について記述すると共に、本単元で意図する事項について書く。

6 本時案（第○次 第○時）

(1) 本時の目標

- ◇「2 単元の目標」「4 指導と評価の計画」との整合を図る。
- ◇本時の評価規準との整合を図る。
- ◇生徒の立場で書く。

(2) 展 開

学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
1	○	
◇生徒の立場で書く。	◇指導者の立場で書く。	◇生徒の立場で書く。
2 (1)	<p>めあて</p> <p>◇生徒の目的意識のまとまりを踏まえて、何をどのように学ぶのかを明確にして本時のめあてを書く。</p>	◇単元を通して資質・能力を育成する力を踏まえて、本時の評価規準を具体的に表現する。◇評価の場面は1、2箇所を絞る。◇評価規準に合わせて、評価の観点・項目を明記する。◇評価方法を具体的に書く。
◇活動に順序がある場合は、(1)(2)で書く。		
(2)	<p>◇学習活動に沿って、指導・支援の意図、指導方法の工夫等について留意すべきことを具体的に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に学習を進めるための手だて ・生徒が対話的に学習を進めるための手だて ・生徒が学習を深めるための手だて ・生徒一人一人の学習状況に応じた手だて ・予想される生徒の反応 ・資料提示のタイミングや方法 	
3	<p>◇学習活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。</p> <p>◇「努力を要する」状況（C）と判断される生徒への手だての例を示す。</p>	
◇導入・展開・終末の学習過程に沿って、生徒の学習活動を具体的に書く。 ◇授業展開については、「岡山型学習指導のスタンダード（授業5）」を参考にする。	<p>まとめ</p> <p>◇本時に何を学んだのかが分かるように整理し、本時のめあてと対応したまとめを書く。</p>	○例：～している。 [評価の観点]（評価方法） ◇評価方法の例 ・発言の内容 ・行動の観察 ・ノート、ワークシートの記述 等
5	○	◇学習の成果が自覚できる振り返りの視点を明確にして書く。振り返りの視点は、『岡山型学習指導のスタンダード【増補版】授業改善「一歩先へ！」』を参考にする。

◎「おおむね満足できる」状況（B）と判断する生徒の姿の例 例：～している。

- ◇本時の評価規準に照らして、本時でねらう生徒の姿について、想定される生徒の発言や記述例等を取り入れながら具体的に書く。なお、ここに挙げる具体的な生徒の姿が、どのような指導によって表れるのか等、指導と評価のつながりを意識して書く。

(3) 準備物

例：掛地図、人物パネル、パワーポイント資料

- ◇ワークシート、提示資料等必要な準備物を書く。